

GPC/SPE方式農薬分析用自動精製装置

科学技術交流財団 主幹研究員 斎藤 勲
株式会社アイスティサイエンス 佐々野僚一

▶〈関連ページ〉9、10、11ページ

狙い 食品中残留農薬分析を行う上で一番困難で煩雑な精製操作部分を、完全自動分離精製することにより、手作業による操作のばらつき低減、分離精度向上をはかり、分析件数増加に対応する。

用途 様々な食品中の残留農薬検査、特に食品中夾雑成分が、分析に影響を与える試料に使用。

特長

- 分子量の大きさに分離するGPCカラムと吸着・分配による分離のSPEカートリッジの特長をうまく組み合わせて、従来、食品中妨害物により農薬等の精度の良い検査が困難であった食品を、それぞれの食品特性に合わせて分離精製を自動的に行う、初めての農薬分析用自動精製装置。
- サンプル情報はタブレット端末に入力し、野菜果物イラストをタッチすると適切な分離方法が自動で設定され、そのタブレットを装置にセットすると、自動的に分離精製操作を行う。

仕様

外 寸／(本体部)W:570×H:680×D:510mm
(送液部)W:580×H:480×D:480mm
重 量／(本体部)40kg
(送液部)35kg
その他／100V電源 窒素配管



表示画面

本体

■お問い合わせ／株式会社アイスティサイエンス 代表取締役 佐々野僚一
e-mail : sasano@aisti.co.jp 電話番号 : 073-475-0033 FAX : 073-497-5011
■特許の有無 : 特願2015-007087